

24 貸借対照表の見方8

(売上債権の回転日数を見ます)

1日当り売上の何日分あるか

月次試算表・貸借対照表(単位:千円) 年 月

まず、「1日当り売上」を計算し、売掛金・受取手形の残高が何日分残っているかをみます。回転日数と言います。

- ・1日当り売上は、年換算売上÷365日で求めます
今月迄の売上÷経過月数×12÷365日=1日当り売上
[] ÷ [] ヶ月×12÷365日=【 】
- ・今月売掛金÷1日当り売上 = 今月売掛金の回転日数
[] ÷ [] = 【 】日分
- ・今月受取手形÷1日当り売上 = 今月受取手形の回転日数
[] ÷ [] = 【 】日分
- ・売掛金回転日数+受取手形回転日数 = 売掛債権回転日数
[] 日分+[]日分 = 【 】日分

前月残高のどれぐらいを今月回収しましたか。(回収率)

- ・前月売掛金 ÷ 当月売掛金回収額 = 売掛金回収率
[] ÷ [] × 100 = 【 】%
継続して毎月回収率を記録して、債権管理に活用を！

注)「1日当り売上」の何日分の残高が残っているか、と言うことを「回転日数」と言います。例えば、売上規模が拡大して残高が多くなっても、同じ回収条件だったら、同じ回転日数になるはずですが、もし、売掛金の残高が同じぐらいで回転日数だけ増えた場合、回収が遅れたこととなりますし、たとえ売掛金の残高が多くなっても回転日数が同じならば、回収が遅れていることにはなりません。売掛金の残高が増え、回転日数も増加した場合は、回収が大幅に遅れることとなりますから、急に資金繰りが悪化します。(黒字倒産の原因)